

## 暑い毎日ですがお庭の木々達は元気ですか？

暑中お見舞い申し上げます。いやこれがお手元に届くころは残暑お見舞いになっているかもしれません。



千代田園芸社の石倉です

カミキリ虫の対応は大丈夫ですか？毛

虫等はいませんか？水遣りは大丈夫ですか？草と格闘なさってますか？ 暑い時は木達もがんばってます。特に水キレは取り返しがつかないので、少し常緑樹が出す水キレサインえをお教えします。常緑樹は水が足りないと葉を落とし水分が蒸発するのを少しでも減らそうと努力します。精一杯生きるために頑張ります。その時に気づいて水をやれば間に合います。葉は少し淋しくなりますが、十分取り返しができます。でも

その時気づかずいけば枯れてしまいます。常緑樹が葉をつけたまま萎れていけばほぼ助けることはできません。落葉樹はほとんど葉をふるうサインを出さず萎れます。手遅れになりやすいのです。水はできれば夕方たっぷりやるのがいいと思います。毎日必要とは言えません。毎日もらえらと思えばお腹いっぱい蓄える癖が付きません。だから少し忘れるとすぐに弱ります。時々しかもらえないのならその時はたっぷりお腹いっぱい飲みます。ただしその時はたっぷり与えることが重要です。お腹いっぱいになるよう与えてもらえれば毎日の必要はありません。水遣りのヒントにして下さい。

さてちょっと前のお話になってしまいますが、今年の5月の連休に京都に行きました。またまた私のぐちぐち談になってしまいますが、皆様は「枯れ山」水

で有名な龍安寺はご存じでしょうか？もちろん知っていると答えになる方も多いと思います。昨今では世界の中でも注目され、先日はフランスのファッションショーだったと思いますが、海外のデザイナーが龍安寺をイメージしたショーを開催したニュースが流れていました。確かに世界に誇る芸術だとおもいます。そこに置かれた15個の石とそれを取り囲む苔、白砂で表現された紋様はシンプルながら見る人によってはとても精神性を感じると思います。ただ苔が非常に悪い状態で石の裾が見えてしまいエ・・・こんな石つかったの・・・と見てはいけないものを見てしまったのです。残念庭師はどうして苔を大切にしないのだろう。室町時代末期から延々と守ってきたはずなのに、こんなことと時々あったのか非常に心配になりました。帰ってくる途中庭師さん達が別の場所で苔をはがしている最中でした。どうして苔をはがしているのか聞いてみると、もみじに肥料をやるためとか。苔をはぎ穴を掘り施肥中でした。苔を剥いでまでもみじに肥料はいるものなのかとても疑問です。しかし代々龍安寺に入っている家の庭師であろうから間違いはないと思いますが、世界に誇る石庭の苔はちゃんと守って欲しいものです。



## さて今回は「お庭をたのしむ」をテーマに秋のお庭散歩を企画したいと思います。

お庭とはいったいどういうものなのでしょうか？立派な石や、何年もかかってそだてられた素晴らしい庭木を使った日本庭園を眺め自然を感じ、癒しをえるところ。好きな花々を自由に植えて、毎日花に囲まれ、手入れをしたり、お庭でお茶を頂いたりして楽しむところ。芝生や砂場で子供たちが駆け回りながら育つところ。お野菜を作ったり、鉢植えを育てたり趣味のスペース。洗濯ものを干すし、バーベキューもする。せっかくお庭のある家に住んだのなら、負担がかかるお荷物ではなく、本来の家族が楽しむことができる庭を考えたいと思っています。そこで、よそ様はどのようにされているのかな？ちょっと覗いてみたくなりませんか？なかなか個人のお宅へ入らせて頂いて、お話を聞くのも近頃は難しいので、時々ご紹介する陶釉さんに無理を言ひまして、土曜日の午前中開けて頂いて、陶釉さんの場合のお庭の改造のお話をし、そこでかわいがられている植物等のお話を聞かせて頂いて、少し私どもの解説をしながら、お抹茶を頂こうと思います。(お抹茶が苦手の方は珈琲を用意して頂きます)そこからもう少し足を延ばし、また違った楽しみかたをしておられ、ほとんど手作りでお庭を楽しんでいらっしゃるお宅を見せて頂きに行こうかと思っています。(こちらはまだ交渉中です)当社から陶釉さんに向かう間の通りで、良い剪定とはどんな剪定かなどもお話ししながら散歩できたらと思います。そして当社に戻り質疑応答の時間をとりたいと思います。

草取り、剪定等手間もかかるしお金もかかる。だんだん面倒になってきた。もう庭なんていらない。そんな考えが頭をよぎっておられることはありませんか？もう一度お庭について考えてみましょう。何か考えのヒントになればと思います。

今回は個人邸にお伺いする事情から先着 4 名様とさせていただきますので、よろしくお願ひします。ご用意いただくものはありませんが、陶釉さんで頂くお

茶代600円程度ご用意ください。まだまだ残暑が残るかもしれませんが、散歩とお茶で楽しい時間とれるといいと思っています。

も一つ。近頃ホームセンターなどでリアル芝生をご覧になったことがある方も多いと思いますが、(株)グリーンフィールドのリアリーターフ(リアル人工芝)のサンプルと説明CDのセットが10ケースほど手に入りました。ご希望のかたがありましたらお電話いただければ進呈いたします。これは遠目には本当に芝生にみえるもので、今までの人工芝とは見た目のリアルさは全く違うものです。今回のサンプルセットには葉の長い状態の芝生と、まさに刈りたての芝生と2種類のサンプルが入っています。また、その下に敷く防草シートのサンプルも入っています。造園の立場からは、できれば、手を入れいつくしんだ本物の贅沢を味わってほしいのですが、手入れをしたくても体調やその他の都合で草取りや芝刈りの手間をかけられない方、砂利の照り返しが心配だが他に方法がなくて砂利で我慢されている方、小さいお子さんが遊ばれる間安全の為利用される方等それぞれの生活の中で、限られた範囲ならこれを取り入れるのも有りかなと思います。参考になさりたい方は一度手に取って頂くのもよいかもしれません。ただし、新ものなので、どれほどの耐久性か等、私もまだわからないことがおおいのですが、問い合わせたところ10年以上はもつとのこと。

